

総務部長の仕事宣言！

総務部長 野田 寿

1 基本姿勢（部の運営方針）

本市は、J1 サガン鳥栖の活躍や九州新幹線新鳥栖駅前に開業した九州国際重粒子線がん治療センターまたはプレミアムアウトレットの立地により、九州はもとより全国から多くの人々が鳥栖市へ訪れることが今後も期待できます。

また、全国的に人口減少が進む中で、交通、産業、自然など恵まれた環境の下で、本市は人口増が見込まれるなど、全国的にも類まれな都市となっており、今後もこの地域の特性を生かしたまちづくりの取り組みが必要です。

更に、自治体においては、国が進める地域主権改革による権限移譲や急速に進む行政事務の情報化への対応、東日本大震災を契機とした防災基盤の強化など、社会情勢に応じた取り組みも求められてきています。

このような状況を踏まえ、本市においては第6次総合計画の実現に向けて、特にリーディングプロジェクトの確実な実施のため、効率的で効果的な行財政の運営を図りながら計画的な事業の執行に努めていきます。

総務部は、庁内全体の政策・財政の管理部門として、各部の具体的な事務事業の調整及び部間の連携を図りながら、各施策が実現できるよう取り組んでいきます。

2 重点事業の概要（リープロ11）

●リープロ11の名称〔2九州をリードするまちづくりプロジェクト〕

○5年後の姿

新鳥栖駅前に開業した九州重粒子線がん治療センターへ九州山口はもとより、広くはアジアから最先端の治療を求め、多くの人々が本市を訪れています。

○リープロを達成するための取り組み項目

・地域特性を活かした魅力ある拠点の形成を図ります。〔総合政策課〕

・観光客の受け入れ体制づくりを行います。〔商工振興課〕

・広域連携の取組を進めます。〔総合政策課〕

・付加価値の高い産業の創出を図ります。〔商工振興課〕

・スポーツを「する・親しむ・出場する・応援する・支える」機会の充実を図ります。

〔スポーツ振興課〕

●リープロ11の名称〔4広域連携のまちづくりプロジェクト〕

○5年後の姿

佐賀県東部地域の広域連携が図られ、地域間交流が盛んに行われています。また、市域や県境を越えた住民同士の交流が行われています。

○リープロを達成するための取り組み項目

・地域間交流・連携の取組を進めます。〔総合政策課〕

・広域連携の取組を進めます。〔総合政策課〕

●リープロ11の名称〔11市民に信頼される市役所プロジェクト〕

- 5年後の姿
市民のニーズに応じた効率的、効果的な行政運営が図られています。
- リープロを達成するための取り組み項目
 - ・情報化推進計画を進めます。 [情報管理課]
 - ・成果重視の行政運営の実現を図ります。 [総合政策課]
 - ・行政改革を進めます。 [総合政策課]
 - ・組織・人材の活性化を図ります。 [総務課]
 - ・公共施設マネジメントを行います。 [建設課]

3 重点事業の具体的取組内容（リープロ11）

●リープロ11の名称〔2九州をリードするまちづくりプロジェクト〕

九州国際重粒子線がん治療センターの事業推進、メディカルツーリズムの検討

- 指標
新鳥栖駅利用者数 [H27年度の目標値] 9,590人/日
- 平成26年度に具体的に何をしていくのか
 - ・九州重粒子線がん治療センターの事業推進を図るため、資金収集活動、PR活動を積極的に推進する。
 - ・メディカルツーリズムの調査研究

●リープロ11の名称〔4広域連携のまちづくりプロジェクト〕

将来のあり方検討委員会、筑後川流域クロスロード協議会等による連携事業の推進

- 指標
鳥栖・三養基地域との連携事業数 [H27年度の目標値] 5事業以上
クロスロード圏域等との連携事業数 [H27年度の目標値] 10事業
- 平成26年度に具体的に何をしていくのか
 - ・将来のあり方検討委員会の開催及び新たな連携事業の検討
 - ・筑後川流域クロスロード協議会、グランドクロス広域連携協議会による連携事業の推進

●リープロ11の名称〔11市民に信頼される市役所プロジェクト〕

組織・人材の活性化を図るとともに、情報化、行政改革の推進及び成果重視の行政運営の実現を図ります。

○指標

行政革新度ランキング	〔H27年度の目標値〕	173位以上
部課長の仕事宣言の公表	〔H27年度の目標値〕	年3回HPでの公表
研修受講者職員の割合	〔H27年度の目標値〕	91%

○平成26年度に具体的に何をしていくのか

行政改革により効果的、効率的な行政運営を図るため、懸案事項等の検討・方向付けを行う。
部課長が仕事宣言をすることで、成果重視の行政運営につなげる。
人材育成に向けて、各職階に求められる能力開発の研修を行う。